

小牧市立米野小学校改築基本設計業務委託プロポーザル実施結果

< 審査結果 >

最優秀者	株式会社大建設 名古屋事務所
次点者	株式会社佐藤総合計画 中部事務所

< 審査経過 >

専門知識を有する学識経験者2名、学校代表者1名、行政関係者2名からなる小牧市立米野小学校改築基本設計業務委託プロポーザル審査委員会を設置し、審議を行った結果、最優秀者及び次点者を各1名選定した。

○審査日程は、次のとおりである。

区 分	項 目	日 程
第一次 審査	実施要領等発表	5月31日(水)
	参加表明書等の交付	5月31日(水)～7月13日(木)
	質疑受付	6月1日(木)～6月20日(火)
	質疑回答(市ホームページに掲載)	6月29日(木)
	参加表明書等の提出期限	7月13日(木)午後5時まで
	第一次審査	7月25日(火)
	結果発表(公表(市ホームページに掲載)・通知)	7月27日(木)
第二次 審査	プレゼンテーション及びヒアリング順番のくじ引き、機器等の動作確認	8月1日(火)
	第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)	8月3日(木)
	結果発表(公表・通知)	8月14日(月)

○評価基準は、次のとおりである。

評価項目	評価事項	配点
設計事務所の能力	技術者数、主要業務実績数、代表的な主要業務実績の内容、同一敷地内の全面的な改築設計実績の有無	15点
総括責任者の能力	資格・経験、主要業務実績数、同一敷地内の全面的な改築設計実績の有無、繁忙度	5点
担当チームの能力	各分野主任技術者等の資格・経験・業務実績数	5点
業務実施方針等	改築基本コンセプトに対する考え方	5点
	敷地内の施設配置に対する考え方	20点
	建物内の内部空間構成の考え方	20点
	学校改築の配慮事項への考え方 (工事期間中の動線を含む)	10点
	イニシャルコスト・ランニングコストに対する考え方	10点
業務理解度等	業務理解度・合意形成に対する取り組み	10点

○改築の基本コンセプトは、以下のとおりである。

米野小学校のコンセプトは【児童・教職員・地域のつながり、関わり合いを大切に育み、ともに成長することができる「新しい時代の米野小学校」を創造する】としており、5つの学校改築に対する基本的な考え方を踏まえた小学校を目指すこととする。

1. 学級数の変動や多様な学習に対応する多機能で柔軟な学校
2. 児童が快適に学習でき、交流を育む学校
3. 児童・教職員の安全・安心に配慮した学校
4. 児童、教職員、地域のつながりの深化を創出する学校
5. 学校活動へ配慮した改築計画

<第一次審査> (令和5年7月25日)

令和5年5月31日に、プロポーザルに関する公告を行い、令和5年7月13日までに参加表明書等の提出があった5者について、評価基準に基づく審査を行い、提出があった5者全てを第二次審査への出席要請者として選定した。

○第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）出席要請者（五十音順）

提出者名
株式会社青島設計
株式会社久米設計 名古屋支社
株式会社佐藤総合計画 中部事務所
株式会社大建設計 名古屋事務所
大建設計株式会社 名古屋事務所

<第二次審査>（令和5年8月3日）

あらかじめくじ引き（8月1日執行）により決定した順番で、提出者の各担当者によるプレゼンテーション及び各審査委員によるヒアリングを行った。その内容に対する評価と、設計事務所の能力等に対する客観的評価を合わせた結果を踏まえて審議を行い、最優秀者1名、次点者1名を特定した。

○総評

本プロポーザルは、施設の老朽化、狭隘化の問題が生じている米野小学校を現地で建替えるにあたり、技術的に最適な設計者を特定する目的で、公募形式で実施した。

審査委員会では、改築の基本コンセプトが十分に配慮されているかということについて、改築基本コンセプトに対する考え方等の5つの観点において第一次審査及び第二次審査を行った。

各者とも吟味された提案がなされたが、以下のとおり講評することに至った。

・最優秀者

米野小学校の周辺環境を活かしたゾーニングが検討されており、児童の学習環境、地域開放などに十分配慮された提案であった。緑地を取り込み、自然と一体に活用できる校舎配置が高く評価された。

・次点者

西側に学校の顔となる特徴的な広場を設けることによって地域とのつながりを感じさせながら、米野コモンズは複数の特徴ある空間を一体的に構成し、改築コンセプトを踏まえた優れた提案であった。

(以下、受付順)

・ 1 番

改築基本コンセプトを十分に理解しており、校舎をコンパクトに配置した提案は、施設配置の考え方が優れたものであった。

・ 2 番

既存のグラウンドを維持することで建設コストが抑えられ、既存緑地や遊具を活かすことのできる優れた提案であった。

・ 3 番

業務理解度が優れており、児童や教職員等のつながりを意識した独創的な提案内容であった。